

川西町新庁舎整備検討委員会
第5回委員会 議事録

- 1 日 時 平成30年8月29日(水) 午後7時～午後8時55分
- 2 場 所 川西町中央公民館 大ホール
- 3 出席委員 11名
- 4 欠席委員 2名
- 5 町出席者 町長 事務局員5名
- 6 設計業者 株式会社 鈴木建築設計事務所 4名
- 7 アドバイザー 公益財団法人山形県建設技術センター 2名

1 開会

司会(事務局)による開会。

2 町長挨拶

昨年から会議を重ね、基本計画、基本設計に向けた意見をいただいた。報告書を読んだが、様々な貴重なご意見を賜り心強く思った。

本日は、基本設計の案について町として、考え方を整理したので、鈴木設計からもご説明いただきながら、しっかり議論を重ねていきたい。本日のご意見については具体的に実施設計の中で反映させていただいて、さらに精度を上げていきたいと考えているので、ご理解いただきたい。

議会の中でも丁寧な説明をし、ご理解賜りながら進めていきたい。全体のスケジュールの見直しをしながら、実施設計を完成させ、建設工事への着手を目指している。第6回委員会で実施設計の確認をし、平成31年を迎えたいという考え方ですので、ご理解賜りたい。

3 委員長挨拶

前回の検討委員会の後、全国的に台風が直撃するなど、やはり日本は災害の多い国だなどつくづく思った。置賜地方は水不足だということだが、南陽市に入ったところで大雨が降ってきたので、天は味方するのだなと思った。

今、町長からお話あったが、だいたい町の案として基本設計が固まってきたということで、今後また実施設計に向けて鈴木設計の説明を聞きながら、皆さんから忌憚のない意見をいただきたい。

4 報告

第4回委員会(7/30)の報告について

第4回委員会での質問に対して、明確な回答がなされていないというご指摘があり、鈴木設計よりその内容について回答。

(鈴木設計)

積雪が2メートルの時に大地震が来ても、耐震性上安全が確保されるということを設計に盛り込みたい。

5 説明及び協議

(1) 川西町役場新庁舎整備基本設計について

配付資料「川西町新庁舎整備基本設計書【概要版】」に基づき、鈴木建築設計事務所及び事務局が説明

【協議内容】

(委員)

庁舎自体の設計としては大変良いが、車庫・エネルギー棟の位置が気になった。具体的に、大きな駐車場で、役場と農協の間に壁を作るように思える。それが無ければ、広い駐車場として利用できるのではないか。

役場の東側に大きな窓と、休憩するようなスペースを作れば、ふるさと納税の返礼品で夏まつりの花火の特別席として利用できるのではないか。

北側からのアクセスを考えると、北側に入口がないのはなぜか。

(事務局)

農協と一体的に考えると、開発行為上難しくなる。農協からの入口を1つにすることで、庁舎単体での開発行為とみなすことができる。

この場所に防災庁舎を造るということで、定められた敷地の中で、駐車場を出来る限り取り、周辺施設とのアクセスを考えても、北西の位置がベストだと考えている。農協との間に排水路があり、庁舎の排水路として活用するということから残さざるを得ない。

また、電気設備室や機械設備室は、将来の機器の維持更新や可変性、庁舎との連絡性を考えると、1番近接したところへの外付けの方が良いだろうと考え、庁舎の北側に配置した。

夏まつりの件は実施設計の中でも検討させていただきたい。

(委員)

建物の位置に関しては良い。中のレイアウトで、西側にトイレや壁、会議室などの機能をもっていき、東側からはきれいな景色が見えた方が良いのではないか。

(事務局)

東側にまとめているのは、1階から3階まで東側に夜間のセキュリティを集約していることと、職員通用口を東側に設置しているためである。これを東西に分散すると、執務空間を通ることになるので、東側に集約せざるを得ない。ご意見については、3階の部分などで実施設計の段階で反映できないものか検討していきたい。

(委員)

屋根の東側の部分が平らになっているが、無散水融雪による雪庇防止をするのか。

3階から屋上に階段が続いているが、屋上に出られるのか。

(鈴木設計)

東側には雪庇ができることが考えられるので、融雪したい。

また、屋根のメンテナンス等で、人が屋上に出入りできるように考えている。

(委員)

除雪・融雪計画を見ると、屋根が内側に勾配がついているように見えるが、屋根自体は勾配がついているのか。

(鈴木設計)

氷柱等できないように、多少内側に水勾配を作るような計画としている。

(委員)

今年の冬のような雪を想定した際に、この新庁舎にはどのくらいの積雪がある計算になったか。

(鈴木設計)

地上に積もった雪の8割～9割程度の雪が積もることが想定される。

(委員)

地下油タンクの利用目的は何か。また、非常用電源の燃料はホームタンクのようなものを設置するのか。

(鈴木設計)

灯油を発電機の燃料とすることを想定している。

(委員)

急速充電スペースは今後電気自動車を想定したものか。また、公用車も電気自動車になっていくのか。

(事務局)

来庁者用の電気自動車の充電スペースを想定している。公用車については、今後検討していかなければいけない。

(委員)

非常用電源の72時間というのは、基準に基づくものか。

(鈴木設計)

基準に基づくものである。

(委員)

駐車場の風については考えているのか。

(事務局)

当初駐車場の向きを東西で置き、台数を確保していたが、町民ワークショップで、風が強く、ドアを持っていかれる可能性があるという意見があり、駐車場の向きを南北に変更した。

また、駐車場自体の風を防ぐ樹木など、十分に町民の方々にご意見をいただ

きながら考えていく。樹木の種類等も踏まえて外構設計の中で課題として捉えて考えていく。

(委員)

庁舎が建つことで、公共施設が駅の東側に集約され、災害時だけでなく人の混雑が予想されるが、周辺の道路の整備をどのように考えているのか。

(町長)

まずは、殖産工務所の十字路に右折レーンの整備を検討している。また、国道287号線にアクセスするというので、駅東萩野線の整備も課題として考えている。議会からも同じ意見があり、周辺道路の整備も、十分計画の中に盛り込んでいかないといけないと思っている。

(委員)

駅東萩野線は、どの時期に着工して使えるようになるのか。

メイン出入口の段差、間口、雨対策はどのように考えているのか。

概算事業費はこれ以上かからないようにしていただきたい。もっと安くなるのであれば、そのようにお願いしたい。また、外構工事には、用地造成も含んでいるのか。

(鈴木設計)

出入口に関しては、段差を設けない計画をしている。雨対策についても十分に検討していきたい。間口については、最大幅で5.5mを考えている。

(委員)

健常者だけでなく、障がいを持っている方も不自由なく出入りできるような計画にしてほしい。

(事務局)

概算事業費については、実施設計に向けてもっと絞り込みたい。一方で、部材費や労務賃金等が若干上がりつつあるので、十分考慮して事業費を抑える方向で検討していきたい。

外構工事には造成工事は含まれていない。基本設計とは別に、造成設計を進めている。

(町長)

庁舎への進入口が、西側道路だけでなく南側から入れれば利便性も上がるので、国道287号線のバイパスまでの実施計画を作りながら、先行して庁舎の南側町道を整備していく計画をしている。建物の利用と時間差がない形で、一体的に道路整備を進めたいと思っている。

(委員)

概算事業費はできるだけ削減していただきたい。

3階は、トイレが東側に1カ所しかない。傍聴席が西側にあるので、西側にもトイレが必要なのではないか。

(事務局)

3階は1、2階と比べると利用頻度が少ない面と、全体のコストの面を考慮した上で、1カ所とさせていただいた。

概算事業費に関しては、消費税8%で見積もっている。今後、消費税が10%になり増加することもありますので、ご理解いただきながら、その上でコスト削減に向けて詰めていきたい。

(町長)

トイレの件については、議会からの意見もある。コストに見合うのかというところと、傍聴席からの距離についてもご理解いただきたい。また、実施設計の中でも議論させていただきたい。

(委員)

セキュリティラインについて、実際は物理的なものでなく、ラインを描いているだけで働くのか。

(鈴木設計)

セキュリティラインについては、執務空間に入れないようにシャッターや扉でセキュリティを確保することを想定している。

(委員)

執務空間に入れないということは、執務空間から出られないということか。

(鈴木設計)

そういうことではなく、執務空間からは出られるように、実施設計で考えていきたい。

(委員)

入退室に関して、ICカードでの管理も検討をお願いしたい。

(事務局)

運用として、ICカードを使用するか、入退室管理をするか、実施設計の中で、十分に検討していきたい。

(委員)

教育長室の位置にも関するが、教育委員会が一機能になっているのであれば、無理に新しい庁舎に入れなくても、あいばるに持っていくなどもあるかと思う。

(事務局)

基本計画の、現在分散している各事務所を、町民サービスの向上のために1カ所に集約したいという考え方を踏襲して進めていきたい。

また、教育長室の位置については、教育委員会としての様々な行政運用の中での教育長室の在り方ということも検討し、この位置に設定させていただいたので、ご理解いただきたい。

(委員)

災害の関係で、新庁舎建設予定地は地震と洪水の可能性があると見ているが、集中豪雨等による洪水対策をどのように考えているのか。

(鈴木設計)

庁舎内に水が入らないようなものを、実施設計の中で検討していきたい。

(委員)

車庫・エネルギー棟には電気関係の設備がいろいろあるが、その対策は何か考えているのか。

(鈴木設計)

車庫・エネルギー棟についても、基礎を立ち上げる等で水が入らないような対策を実施設計の中で検討していきたい。

(委員)

1 m程度水かさが上がることを想定して設計していただきたい。

(委員)

3階の屋根が平らになったが、庇の方は、勾配をつけるのか。

(鈴木設計)

勾配をつける方向で検討している。

(委員)

屋根の勾配については、全て揃えた方が良い。

3階の屋根が平らになった理由は何か。

(事務局)

平らになっているところは、屋上という見方をしており、防災アンテナ等を建てる予定なので、平らなところに架台をつけてというようになる。

また、3階が堆雪型ということもあるので、メンテナンス等も考慮し、平らな形状を検討していただいた。

(委員)

東側にアンテナ等を設置した場合、雪が溜まり、雪庇ができることが想定されるが、どのように考えているのか。

(鈴木設計)

防災アンテナ等をつけなければいけないということで、これから設置する位置を検討していくが、雪が積もり雪庇ができるというようなことがないように、検討していきたい。

(委員)

教育長室についてだが、機能的に教育委員会と部屋が別になり、現在と違う

ということに何か意見はあったのか。

(事務局)

基本的に教育長への来客は学校関係者が多く、個室は当然必要であり、現在は事務局の中を通過して教育長室に入ることになっている。教育委員会の職員が来客を把握した上で案内するという形は、今後も変わらない。現段階では、教育委員会から異論は出ていない。

(委員)

南側のガラス面は2重のサッシにする等は考えているか。

(鈴木設計)

現在想定しているのは、熱損失ができるだけないものということで、アルゴンガス入りのペアガラスなどを、実施設計の中で検討していきたい。

(委員)

地下水の無散水融雪は、地下水の温度だけでは雪が融けないと思うが、ボイラーでお湯を回すという理解で良いか。

(鈴木設計)

現在は加温せずに地下水を汲み上げて還元井戸に戻すということを想定している。実際に試掘してみないと、温度や水量がわからないので、相談しながら実施設計の中で検討していきたい。

また、米沢市内で無散水融雪を導入した実例があるので、調査していきたい。

(委員)

ソーラーパネルについてだが、費用対効果を考えた際に、設置する意味があるのか。

(事務局)

太陽光発電については、今回は売電ではなく自家用ということで提案しているが、今後具体的なコスト面も含めて検証していきたい。

一例では、民間事業者が設置し、それを売電しリース料として支払うPPAという方法もあり、費用対効果をはじめ、検討していきたい。

設置する位置に関しては、高さや雪など総合的に実施設計の中で検討していきたい。

(委員)

防災倉庫の中に何が入るのか。

周辺の外灯についてどのように考えているか。

(事務局)

外灯については、外構設計の中で十分に検討する必要がある。周辺の田に影響が出ないように専門の方のご意見も聞き、検討しながら進めていくので、知恵を貸していただきたい。

防災倉庫については、水道や道路の資器材等を入れたいと計画している。食糧については、庁舎内の備蓄倉庫に保管する計画である。

(委員)

阪神淡路大震災の際に倒壊した建物の検証はなされたか。

(鈴木設計)

阪神淡路大震災でつぶれた建物は、1階に壁がなく、2階、3階に壁があるというような、1階が弱点だということがはっきりしている建物である。今回の庁舎はまったくそういった建物ではないが、弱点を作らないための構造とすることをご理解いただきたい。

(建設技術センター)

これまで、町と設計業者と打ち合わせを重ねてきて、概要版ではあるが、良いものができたと思う。

(2) その他

山形県建設技術センターより、県内の新庁舎建設に関する他事例を紹介された。

6 その他

事務局から、12月頃に第6回目の検討委員会で実施設計の内容について協議いただきたい旨を説明。

(町長)

各委員の皆さんから貴重なご意見をいただき、感謝申し上げます。

豪雨対策として止水板等の対応を実施設計の中で検討していきたい。災害に強いということをお大前提にしっかり取り組んでいきたい。

太陽光発電については、屋根に全部乗せた場合、雪止めになってしまうのではないかとということもある。壁やガラス面に設置するなども想定して、発電効率が下がったとしても、屋根の上に雪が溜まらない構造とすることが前提ではないかという思いもある。

喫煙所についても議会から意見が出ている。町としては、受動喫煙を防止したいという方向で進めていきたいと考えている。

7 閉会

司会（事務局）による閉会。